

# 国語科学習指導案

指導者 府中町立府中小学校 水田 有紗

1 研修テーマ 説明的な文章における「考えの形成」

2 日時 令和5年9月15日（金）第2校時

3 学年 第2学年4組 男子15名 女子17名 計32名

4 単元名 読んで考えたことを伝えよう  
「どうぶつ園のじゅうい」（光村図書 こくご二上 たんぼぼ）

5 単元について

## （1）単元観

本単元は、主たる指導事項として、小学校学習指導要領（平成29年告示）国語第1学年及び第2学年の〔思考力、判断力、表現力等〕C「読むこと」「(1)オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。」を受けて設定している。「文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ」力を育成するには、文章の内容を自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付けて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりすることが必要となる。

本単元で扱う教材文「どうぶつ園のじゅうい」は、動物園の獣医の一日の仕事が時間の流れに沿って書かれているので時間的順序を捉えるのに適している。獣医の仕事内容を説明している部分は、「朝」「見回りがおわるころ」「お昼前」「夕方」「一日のおわり」といった時間を表す言葉で意味段落が始まっており、その後に仕事の内容とそれをする理由について書かれている。そのため、形式段落の1文目に着目することで、一日のうちのいつのことなのか分かるようになっていく。また、説明的な文章ではあるが、獣医が動物たちを治療する際の、「そっと、手をあててみました」「やっとのみこんでくれました」「元気になりひとあんしんです」などの表現により、筆者が動物を思いやる気持ちも読み取れるように書かれている。そのため、仕事に対する熱意や真剣さも感じられるであろう。これらのことから児童が既有的知識や経験と結び付けて解釈し、理解を深めた上で文章の内容に対する思いをもつ力を身に付けるのに適している。

## （2）児童観

本学級の児童は、5月に学習した説明的な文章「たんぼぼのちえ」では、時間の順序や理由を表す言葉を丸で囲んだり、サイドラインを引いたりしながら読み取ってきた。たんぼぼの様子を文章から理解する際には、叙述と挿絵を結び付けたり、たんぼぼの様子を動作化したりするなどの手立てを取り入れながら読み進めたことがとても有効であった。その結果、様子やそのわけの叙述に着目してサイドラインを引くことができる児童が増えた。また、「春になると」「2、3日たつと」といった表現が時間の経過を意味する表現だと気づき、時間の順序を意識しながら文章を読むことができるようになってきた。一方で、「やがて」といった副詞がどのような時間の経過を指しているのか知らない児童もおり、日常、児童が話したり書いたりする言葉以外の語彙をどのように増し、事柄の順序をどのように理解していくかは課題である。

本単元で育成したい資質・能力の「文章の内容と自分の経験を結び付けて感想をもつ」ことについては、これまでに文章の内容に結び付く経験を想起する学習を取り立てて行った経験が少ないことから、文章の内容と結び付けて解釈できるような知識や経験を十分に想起することが難しいことが予想される。

## （3）指導観

単元の導入時に、お仕事に関する絵本を「考え聞かせ」の手法を取り入れたり、お仕事クイズで児童の身近なお仕事を3ヒントクイズにしたりして、「どうぶつ園のじゅうい」の学習への興味・関心を引き出しながら、進んで学習に取り組もうとする態度へつなげる。

時間を表す言葉を丸で囲んだり、獣医の仕事やその理由を表す言葉に色を変えてサイドラインを引いたりしながら読み進め、ワークシートにまとめながら大体的内容を捉え、順序立てて説明する文章のよさについて考えられるようにする。

単元のゴールに獣医さんの仕事と自分、身近な人（保健室の先生、家族など）の仕事を比べて自分の経験と結び付けて感想をもち、伝え合うことができるようにする。その手立てとして、並行読書や身近な人へのインタビューを通して、自分と身近な人の1日の大体的様子を捉え、自分の体験と結び付けやすくする。

6 単元の目標

○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕 (2) ア

○時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) ア

○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) オ

○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

7 単元の評価規準

| 獣医さんの仕事について分かったことや考えたことを伝え合う活動【言語活動例 ア】  |  |   |
|--|--|---|
| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</li> </ul> <p>(2) ア</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。</li> </ul> <p>(C (1) ア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</li> </ul> <p>(C (1) オ)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで、文章と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって、考えたことをまとめようとしている。</li> </ul> |

<評価の具体及び手立て>

|   | 評価規準【「おおむね満足できる」状況 (B)】 | 「努力を要する」状況 (C) と判断した児童への指導の手立て  |
|---|-------------------------|---|
| <p>文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p> <p>思考・判断・表現</p> | <p>【ワークシートの記述例】</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>どうぶつ園の獣医の1日と自分の1日、身近な人の1日のくらしの流れを整理したメモを見て、比べながら自分の経験と結び付けて書けるようにする。</li> <li>全体では枠のみのワークシートを使うが、Cと判断される児童には穴埋め型のワークシート(主語と述語のみが書かれている)を使って自分の感想を書き出しやすくする。</li> <li>つまづいている児童のところへ行き、その様子を見極め、適切な声かけをする。</li> </ul> |

8 指導と評価の計画 (全 14 時間)

| 次 | 時                     | 学 習 内 容  | 評 価 |   |   |  |
|---|-----------------------|--|-----|---|---|--|
|   |                       |  | 知   | 思 | 主 | 評価規準・<br>評価方法 等  |
| 一 | 1<br>・<br>2           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お仕事に関する本を「考え聞かせ」する。</li> <li>・お仕事紹介クイズをする。</li> <li>・範読を聞き、感想をもつ。</li> <li>・単元のめあてを確認し、学習計画を立てる。</li> </ul>                              |     |   |   |  |
|   | 3                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を通読し、教材の内容を確認する。</li> </ul>  |     |   |   |  |
| 二 | 4                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような順序で書かれているか考える。</li> </ul>   |     |   |   |  |
|   | 5<br>┆<br>8           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者がいつ、どんな仕事をして、どんな工夫があるのかを表にまとめる。</li> <li>①朝の場面、いのししの場面</li> <li>②にほんごの場面</li> <li>③ワラビー、ペンギンの場面</li> <li>④仕事の終わり、動物園を出る前の場面</li> </ul> |     | ○ |   | [思考・判断・表現]<br><u>ワークシート・発言</u><br>時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。  |
|   | 9                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医さんの1日を振り返り、「毎日すること」「この日だけにすること」の違いを話し合う。</li> </ul>  | ○   |   |   | [知識・技能]<br><u>ワークシート</u><br>共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。  |
| 三 | 10<br>・<br>11         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の1日の大体を振り返る。</li> <li>・並行読書やインタビューを基に身近な人(保健室の先生、家族など)の1日の大体と工夫を捉える。</li> </ul>  |     |   |   |  |
|   | 12<br>・<br>13<br>(本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の経験と結び付けて気付いたこと、考えたことをまとめる。</li> <li>・互いの感想を伝え合う。</li> </ul>   |     | ○ | ○ | [思考・判断・表現]<br><u>ワークシート・発言</u><br>文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。<br><br>[主体的に学習に取り組む態度]<br><u>児童の様子</u><br>進んで、文章と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習の見通しをもって、考えたことをまとめようとしている。 |
|   | 14                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体の振り返りを行う。</li> </ul>   |     |   |   |  |

9 本時の学習

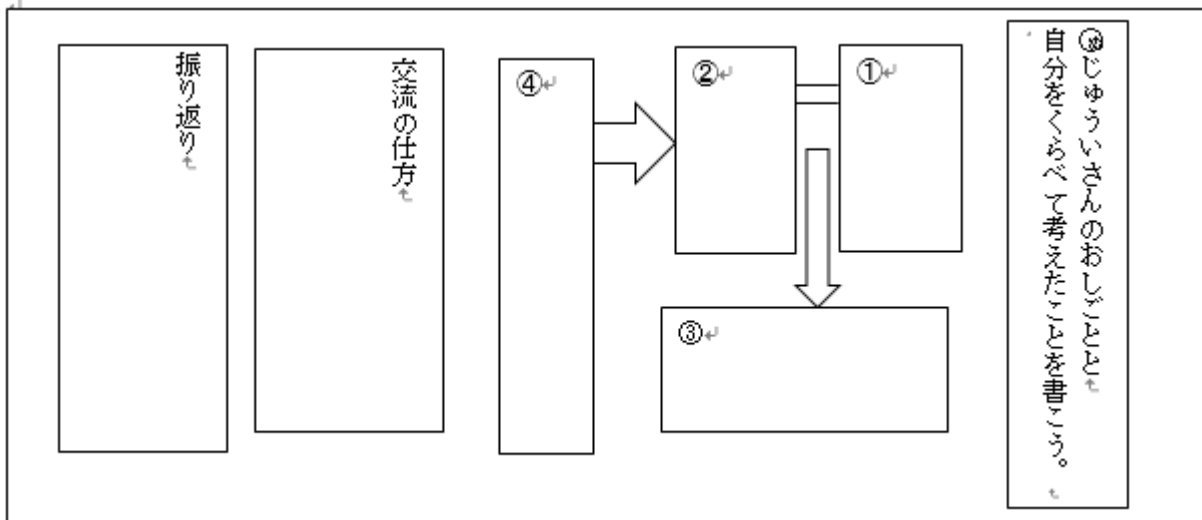
(1) 本時の目標

動物園の獣医の仕事と自分や身近な人の仕事を比べたことを基にして、分かったことや思ったことを自分の体験と結び付けて文章にまとめ、交流することができる。

(2) 学習の展開 (本時 13/14)

| 学習活動  | ○指導上の留意点<br>□主な発問<br>・予想される児童の反応<br>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て   | 評価規準<br>(評価方法)   |
|---|--|--|
| ○前時までの学習を振り返る。  | ○獣医の1日と自分、身近な人の1日について調べたことを振り返る。   |  |
| じゅういさんのおしごとと自分をくらべて考えたことを書こう。   |  |  |
| ○本時のめあてを確認する。<br>○獣医と自分の1日、身近な人の1日を比べて分かったことや思ったことをまとめる。<br><br>○まとめたことを班で交流する。<br><br>○本時の振り返りをする。 | □獣医の1日と自分の1日を比べてみましょう。<br>○ワークシート『①獣医の仕事で驚いたこと②自分の経験・知っていること③結び付けて分かったこと考えたこと④自分が思ったこと、感じたこと』を書く。<br>◆文章の見本を示しながら書き方を確認する。<br>◆穴埋め型のワークシート(主語と述語のみが書かれている)を使って自分の感想を書き出しやすくする。<br>○書き終わる時間に差があるため、早く書き終わった人同士で交流し、感想を広げられるようにする。<br><br>○十分に話し合いができるよう班の人数を3人にして交流する。<br><br>□交流をしてどのようなことを思いましたか。<br>・○○さんと驚いたところが同じだったけど、分かったことや経験したことが違って面白いなと思いました。<br>・○○さんの感想が、わかるところが多くて盛り上がりました。<br>・○○さんの感想を聞いて自分は思っていなかったけど、聞いたらすかにそうだと思います。 | [思考・判断・表現]<br>(ワークシート・発言)<br>「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 |

(3) 板書計画



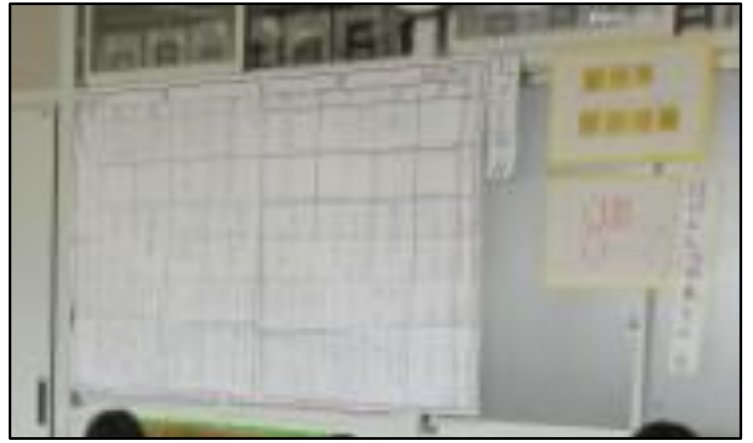
## 10 指導の実際

### (1) 指導上の工夫

#### ①環境作りの工夫

並行読書として、仕事に関する本を教室に並べておき、いつでも児童が手に取ることができるようにした。様々な職業の1日に興味・関心をもち、動物園の獣医に繋げることができた。

教室には、獣医の1日や保健室の先生の1日をまとめた表を掲示したり、ICTを活用した時のまとめを掲示したりするなど学びの足跡を残していった。



#### ②「考え聞かせ」の取組

単元の導入で教師が様々な職業の1日を紹介した本を読み、写真を見ながら、「病院の先生の1日はどんな様子だと思う?」「警察官はどんな持ち物を持っている?」など対話をしながら「考え聞かせ」を行った。また、写真やキャプションなど本文以外の部分にも注目できるよう声をかけながら読み進めた。これらの取組を通して、本をどのように読み進めればよいか理解できるようになった。

#### ③教材文に印をつける

時間を表す言葉に丸で囲んだり、獣医の仕事やその理由を表す言葉に色を変えてサイドラインを引いたりしながら読み進めた。特に、時間を表す言葉においては、ほとんどの児童が丸で囲むことができ、獣医さんの1日の大体を捉えることができた。

#### ④保健室の先生や身近な人にインタビュー

保健室の先生や身近な人へのインタビューを通して、自分と身近な人の1日の大体の様子を捉えることができた。保健室の先生が児童の登校前に学校を見回っているところと獣医さんが朝、動物園を見回っているところが似ていることに気づき、自分の経験と結び付けて感想をもつことができた。

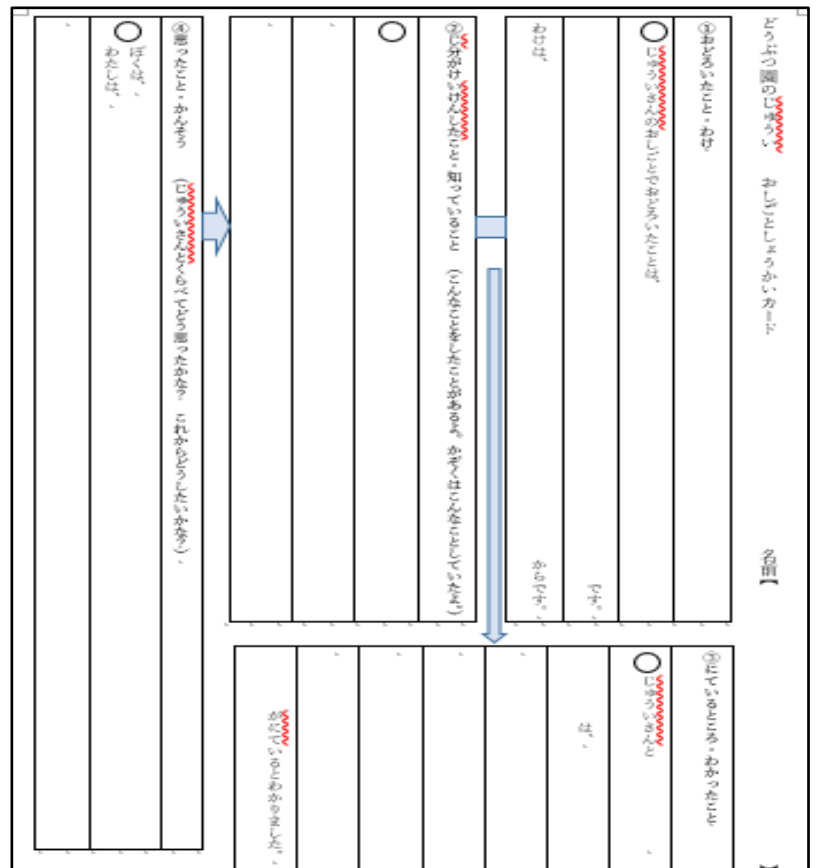
### (2) 児童のつまずきと実際に講じた手立ての具体

#### ①ワークシートの工夫

児童のつまずきとして、獣医と自分の経験を繋げて書く場面で、文の書き出しがわからないという児童がいることが挙げられる。そのため、文の書き出しと文末が書かれたワークシートを個別に配付し、文を書き出しやすくした。このことにより、書き出しに悩むことなく自分の考えを続けて書くことができた。

#### ②個別の対応

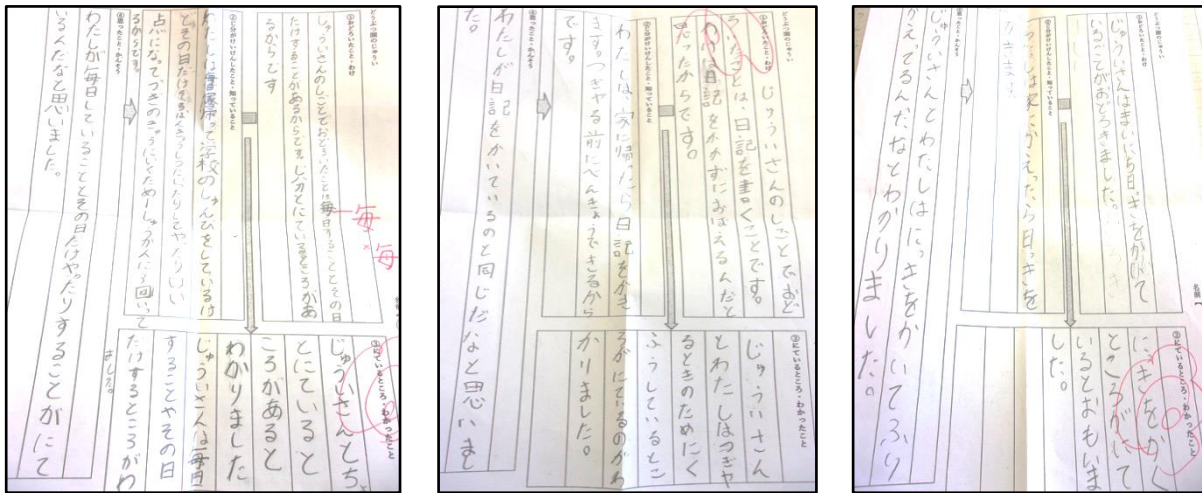
経験が少なく、想起しにくい児童には個別で声をかけた。その際、「学校から帰って日記を書いたことある?」などと聞いてみると、「いつも宿題の最後に毎日日記を書いている」など獣医と似ている経験を想起することができた。他にも、児童の経験を先に聞き、「獣医さんのどのお仕事と似ている?」などと声をかける方が見付けやすい児童もいた。



|           |           |                  |      |
|-----------|-----------|------------------|------|
| ① 獣医さんの1日 | ② 自分自身の1日 | ③ 獣医さんと自分の1日を比べて | ④ 感想 |
| ① 獣医さんの1日 | ② 自分自身の1日 | ③ 獣医さんと自分の1日を比べて | ④ 感想 |

## 11 評価の実際

### (1) 評価の具体



獣医の仕事と自分の体験とを結び付けて書くことができたら「おおむね満足できる」状況(B)とする。

「おおむね満足できる」状況(B)と判断した児童の一人は、「獣医さんの仕事で驚いたことは、(最後に)日記を書くことです。わけは、日記を書かずに(一日の終わりまで)覚えていると思ったからです。私は、家に帰ったら日記を書きます。次の勉強の前に復習ができるからです。獣医さんと私は次のために工夫しているところが似ているとわかりました。獣医さんと私は日記を書いて振り返っているのだとわかりました。そして、獣医さんの1日は、とても大変なんだと思いました。もっと詳しく調べてみたいです。」(※()中の語は稿者による補足)とワークシートにまとめることができた。

### (2) 児童の評価

「どうぶつ園のじゅうい」の教材文の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもつことができた児童については、「十分満足できる」状況(A)と評価した児童の数は9人、「おおむね満足できる」状況(B)と評価した児童の数は23人、「努力を要する」状況(C)と評価した児童はいなかった。

## 12 成果と課題

### (1) 成果

- ・本単元の導入で「考え聞かせ」の手法を取り入れた読み聞かせやお仕事に関するクイズを取り入れたことにより児童の興味・関心を引き出すことができ、主体的な態度につながった。
- ・「どうぶつ園のじゅうい」の学習で楽しかったと答えた児童→96.3%
- ・獣医さんの1日の仕事がわかったという児童→96.3%
- ・時間を表すことばが分かったという児童→92.3%
- ・獣医さんの仕事と自分の経験をつなげて書くことができたという児童→88.9%  
→「おおむね満足できる」状況(B)の23人のうち3人は、個別で声をかけながら自分の経験を思い出し文章の内容と経験を結び付け、感想をもつことができた。これからも、自分の思いを書くことが難しい児童には、声をかけたり、ワークシートなどを工夫したりしながら指導していく。

### (2) 課題・今後に向けて

- ・4つの観点を整理して書くことが難しい児童がいた。  
→これからも毎日日記や行事後の日記などを通して、書く活動に慣れさせていきたい。
- ・獣医と自分ではなく、動物と自分の経験を結び付けて考えている児童がいた。  
→獣医の仕事に着目して考えられるように動物園の獣医から直接話を聞いたりする場を設けるなど獣医に興味をもてるように授業を展開していく必要がある。
- ・自分の経験が想起できない。  
→ペア活動やグループ活動などを効果的に取り入れる。

## 付録 選書リスト

| 書名                         | 著者名  | 出版社名  |
|----------------------------|------|-------|
| 名人はっけん! まちたんけん③ 暮らしをささえるひと | 黒田隆暁 | 学研プラス |
| 名人はっけん! まちたんけん④ まもるひと      | 黒田隆暁 | 学研プラス |
| 名人はっけん! まちたんけん⑤ そだてる・とるひと  | 黒田隆暁 | 学研プラス |